

# 令和4年度クリーニング師試験問題 (学科試験)

日 時 令和4年11月16日(水)  
午前10時から午前11時30分まで

科 目 I 衛生法規に関する知識  
II 公衆衛生に関する知識  
III 洗たく物の処理に関する知識

## 【注意事項】

試験問題は、指示があるまで開いてはいけません。

- 1 問題の解答は、必ず解答用紙に記入してください。
- 2 解答用紙は1枚です。解答欄を間違えないように注意してください。
- 3 解答用紙には、受験番号及び氏名を忘れずに記入してください。
- 4 試験開始後40分間と試験終了前10分間は原則退室を認めません。
- 5 携帯電話等の通信機器を時計代わりに使用することは禁止します。電源を切ってカバン等にしまってください。
- 6 その他、係員の指示に従ってください。

山 形 県

## I 衛生法規に関する知識

第1問 次のクリーニング業に係る衛生法規の記述について、あてはまる最も適当な法規名を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

ア 石油系溶剤を使用したドライクリーニングの業務を行う場合は、有機溶剤作業主任者の選任、有機溶剤等取扱い上の注意事項の掲示と有機溶剤等の区分表示、特殊健康診断の実施等を遵守しなければならない。

イ ドライクリーニングに使用する石油系溶剤やテトラクロロエチレンは、光化学オキシダントやPM<sub>2.5</sub>の原因物質であるVOC（揮発性有機化合物）に該当し、大気中への排出・飛散の削減努力が求められている。

ウ 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場については、住居系地域や商業系地域における立地を禁止している。

エ クリーニング所においては、洗たく業の用に供する洗浄施設が特定施設に該当し、自治体への届出、排水基準の遵守、測定と記録、事故時における届出等の義務がある。

語群	① クリーニング業法	② 労働安全衛生法	③ 水質汚濁防止法
	④ 建築基準法	⑤ 大気汚染防止法	

第2問 次のクリーニング業法における目的及び定義に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

1 この法律は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的としている。

2 この法律で「クリーニング所」とは、洗たく物の処理のための営業者の施設をいい、洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをする施設は含まない。

3 この法律で定義する「クリーニング業」には、繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを営業とすることも含まれる。

第3問 次のア～ウのクリーニング師の免許に関する記述のうち、正しいものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

ア クリーニング師の免許を受けようとする者は、本籍、住所、氏名及び生年月日を書いた申請書に戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍の記載のある住民票の写し及び業務を行おうとする場所を記載した書類を添えて、居住地の都道府県知事に申請しなければならない。

イ クリーニング師が免許証を紛失したときは、1年以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。

ウ クリーニング師がクリーニング業に関する罪を犯し、免許の取消処分を受けた者は、5日以内に免許証を、免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。

第4問 次のクリーニング業法における営業者の衛生措置等に関する記述について、文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

1 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び（ a ）をそれぞれ少なくとも（ b ）台備えなければならない。

2 洗場については、床が不浸透性材料で築造され、これに適当な（ c ）と排水口が設けられていること。

3 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で定める洗たく物には、（ d ）がある。

語群	① 1	② 2	③ 旅館で使用したタオル	④ 乾燥機
	⑤ 滑り止め	⑥ 勾配	⑦ 脱水機	
	⑧ 飲食店で使用した作業着			

第5問 次のクリーニング業法における営業者の届出及び利用者に対する説明義務等に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 クリーニング所を開設しようとする者は、クリーニング所の位置、構造設備及び料金並びにクリーニング師の氏名をあらかじめ都道府県知事（保健所長）に届け出なければならない。
- 2 クリーニング所を開設しないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業とする者は、届出をする必要はない。
- 3 営業者は、クリーニング所の構造設備について都道府県知事（保健所長）の検査を受け、規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。
- 4 クリーニング所において、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を店頭に掲示しておくとともに、洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、利用者に対し、当該掲示事項を記載した書面を配布する。

第6問 次のクリーニング業法における罰則等に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 クリーニング所を開設しようとする者は都道府県知事（保健所長）に届け出なければならない。届出をせずクリーニング所を開設した者は罰金に処する。
- 2 都道府県知事（保健所長）は、必要があると認めるときは、当該職員に、クリーニング所に立ち入り、営業者の衛生措置等の実施状況を検査させることができるが、営業者は当該職員の検査を拒むことができる。
- 3 法人が営業するクリーニング所の従業者が業務に関して違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人に対しても同様の刑を科する。
- 4 都道府県知事（保健所長）は、営業者又はその使用人で、洗たく物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。

## Ⅱ 公衆衛生に関する知識

第1問 クリーニング業は、不特定多数の人が利用することから、感染症対策が必要な業態の営業である。次の感染症対策に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 新型コロナウイルス感染症の流行時には、従業者はマスクを着用し、入店者にもマスク着用を呼びかける。
- 2 従業者の家族がインフルエンザに感染した場合、その従業者は症状がなくても休まなければならない。
- 3 未洗たくのものと洗たく済みのものは、区分して取り扱う。
- 4 洗たく処理室は、空間洗浄のため消毒剤を噴霧しながら作業する。
- 5 感染症流行時は、症状があるなど罹患の疑いがある場合、無理して業務に従事せず、医療機関を受診する。

第2問 次のノロウイルスに汚染されたりネン類の取扱いに関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 ノロウイルスを含んだ汚物が付着していたりネンの下洗いの際は、飛沫によって感染することもあるので、しぶきを吸い込まないようにする。
- 2 ノロウイルスで汚染したりネンは、下洗いした後、85℃・1分間以上の熱水洗たくで消毒できる。
- 3 ノロウイルスで汚染したカーペットや布団など、すぐに洗たくできない場合は、汚物を取り除き、スチームアイロンによる消毒を行う。
- 4 ノロウイルス患者の吐物には大量のウイルスが含まれるので、消毒する場合は、100ppmの次亜塩素酸ナトリウムを使用する。

第3問 次のア～エの手洗いに関する記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

- ア 手洗いの洗い残しが多い部分としては、手のしわ、指先や手首である。
- イ アルコール消毒は、乾燥している状態の手に噴霧する。
- ウ 次亜塩素酸ナトリウムは、強力な殺菌効果があるので、手指消毒に使用してよい。
- エ 洗たく前の被洗物の仕分け作業をした後は、手洗いもしくは手指消毒を行う。

第4問 次の消毒が必要な洗たく物（指定洗たく物）の消毒方法に関する記述について、( )にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

- 1 ( a ) °C以上の湿熱に10分間以上触れさせる。
- 2 ( b ) °C以上の熱湯に10分間以上浸す。
- 3 遊離塩素 ( c ) ppm以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液中に30°C以上で ( d ) 分間以上浸す。
- 4 酸化エチレンガス及び炭酸ガスを1：9に混合し、あらかじめ真空にした装置に注入した後、大気圧に戻し、( e ) °C以上で ( f ) 時間以上触れさせる。

語	① 1	② 2	③ 5	④ 10	⑤ 50	⑥ 80
群	⑦ 100	⑧ 250				

第5問 地球環境問題への取組として、SDGsが提唱されている。次のクリーニング業がSDGsに貢献している取組に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 プラスチックハンガーの回収・再利用
- 2 レジ袋の有料化
- 3 エアコンの温度設定の適正化
- 4 天然素材の石けんや洗剤の使用

### Ⅲ 洗たく物の処理に関する知識

第1問 次のドライクリーニングに関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 ドライクリーニングとは、水洗いすると縮んだり、形くずれしたり、色が落ちたりするような衣料品を、水の代わりに有機溶剤を用いて衣料品への影響を抑えた洗浄方法である。
- 2 石油系溶剤は、油脂溶解力が大きく、比重が軽いので、ソフト洗いに適している。
- 3 チャージシステムとは、あらかじめドライ溶剤にドライソープを添加しておいて洗う方法で、ソープ濃度は5～10%を用いるのが普通である。
- 4 チャージシステムでは、ソープが規定濃度であれば、繰り返し使用してもソープの有効活性分が低下しないため、安定した洗浄力が期待できる。
- 5 洗浄によりドライ溶剤中に溶け込んだ油性汚れの多くは、フィルターのみでは除去することができないため、汚れたドライ溶剤を加熱して蒸発させ、そのガスを冷却液化し、溶剤を再生する蒸留が必要となる。

第2問 次の家庭用品品質表示法における家庭洗たくなどの取扱い絵表示の記号の意味について、最も適当な絵表示を下の記号群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

- ア 日陰での平干し乾燥がよい。
- イ 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
- ウ 洗たく処理後のタンブル乾燥処理はできない。
- エ 石油系溶剤でのドライクリーニング処理ができる。
- オ ウエットクリーニング処理はできない。

記 号 群	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

第3問 次の溶剤及び洗剤に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 ランドリーで洗剤と併用されるメタ珪酸ナトリウムなどのアルカリ助剤は、汚れの酸性を中和し、洗たく液をアルカリ性に維持する働きがある。
- 2 洗剤や仕上げ剤などのイオン性によって、薬剤の併用性を判断するが、アニオン（陰イオン）系とノニオン（非イオン）系の併用は、イオン結合を起こして本来の効能が相殺されることがある。
- 3 過炭酸ナトリウムは酸素系漂白剤であり、標準使用量は、1リットルあたり0.5～1gで、温度は高く、時間は長いほど漂白効果が出る。
- 4 次亜塩素酸ナトリウムは塩素系漂白剤であり、綿、麻などのセルロース系繊維に適するが、低温では漂白効果が出ない。
- 5 柔軟剤（ソフター）は、自己乳化型のカチオン界面活性剤が成分で、これが繊維に吸着して加脂効果を発揮して繊維を平滑にし、静電気を抑え、衣服を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。

第4問 次の特殊クリーニングに関する記述について、( )にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

- 1 毛皮の特徴としては、高温、高湿度に ( a ) ことと虫が付きやすいことが挙げられる。
- 2 毛皮のクリーニングは、脱脂されるので、( b ) クリーニングは避ける。
- 3 皮革は、熱に弱く高熱を受けると ( c ) する性質がある。

- 4 皮革のクリーニングの仕上げでは人体プレス機を使用し、  
 ( d ) °Cで蒸気量を少なめにして短時間処理をする。
- 5 和服のクリーニングは一般衣料のドライクリーニングと同じでよいが、  
 絹和服の洗浄は、( e ) によるブラシ洗いに重点が置かれ、ワッシャーによる処理はすすぎを行う程度にとどめる。

語群	① 強い    ② 弱い    ③ ドライ    ④ パウダー
	⑤ 軟化膨張    ⑥ 硬化収縮    ⑦ 30～40
	⑧ 60～70    ⑨ 石油系溶剤    ⑩ 塩素系溶剤